

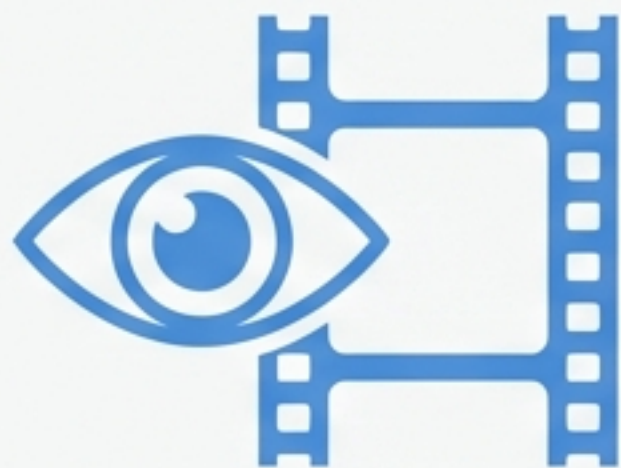
多視点映像教材の開発とその活用

看護基礎技術習得のためのイノベーション

第7講 教材の開発とその活用
藤本清隆（サンメッセ株式会社）



編集者目線から、学習者目線への転換



従来の映像教材 (Traditional Video)

固定された視点

編集者が重要と判断したアングルのみを視聴。
受動的な学習。



多視点映像教材 (Multi-Viewpoint Material)

視点を選ぶ

学習者自身が見たいアングルを自由に選択。
能動的な観察。

看護技術の多視点映像タブレット教材



直感的なUI

マルチアングルとシングルアングルのシームレスな切替



iPad アプリケーション



完全ローカル保存

ネットワーク環境に依存せず、スムーズな再生を実現

インターフェースの解剖：学習を支援する機能群

1. 画面切替:

4画面マルチと6画面マルチの切換

1

2. アングル選択:

マルチ画面でタップして拡大

2

3. 操作パネル:

5秒戻し・送り機能で微細な動きを確認

4. チャプターメニュー

見たい場面へ即座にジャンプ

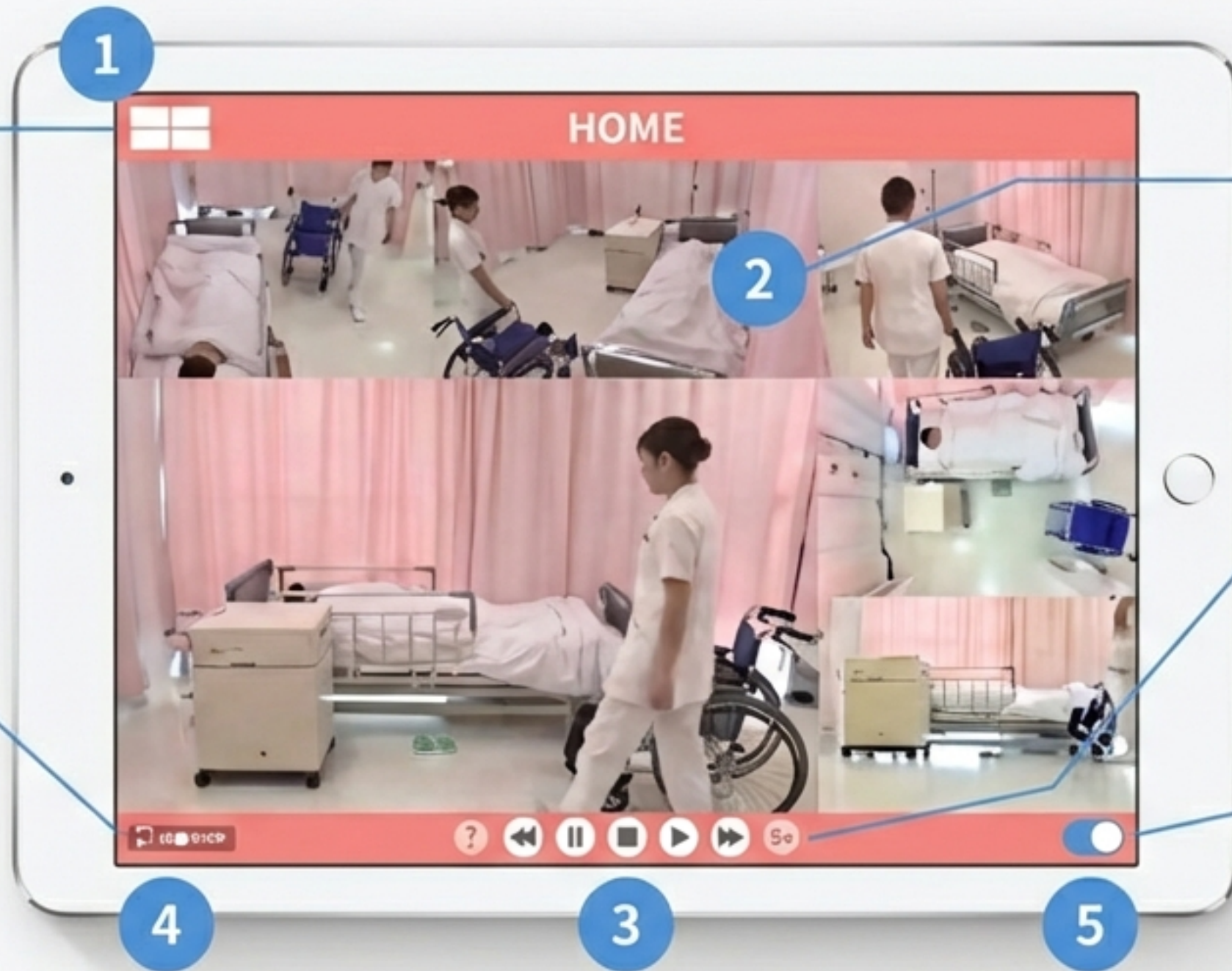
4

3

5

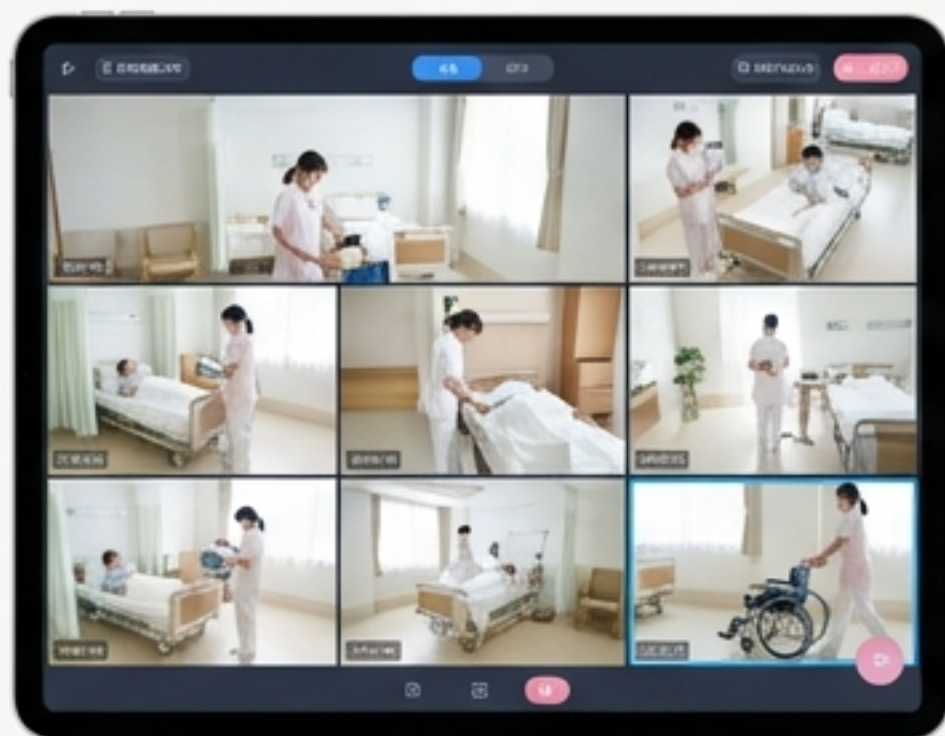
5. ポイント表示:

実習の重要ポイント表示のON/OFF



直感的な視点操作 (Intuitive Viewpoint Control)

全体把握



マルチ画面で全体の状況を把握

選択



見たいアングルをタップ

詳細確認



大画面で細部の動きを確認

反復学習を最適化するマイクロ機能



ワンタッチ巻き戻し (5s Back)

スライダー操作のストレスなく、直前の動作を何度でも瞬時に復習可能。



実習ポイント表示

教員目線の「重要ポイント」をタイムラインに表示。ON/OFF切り替えで  理解度をチェック。

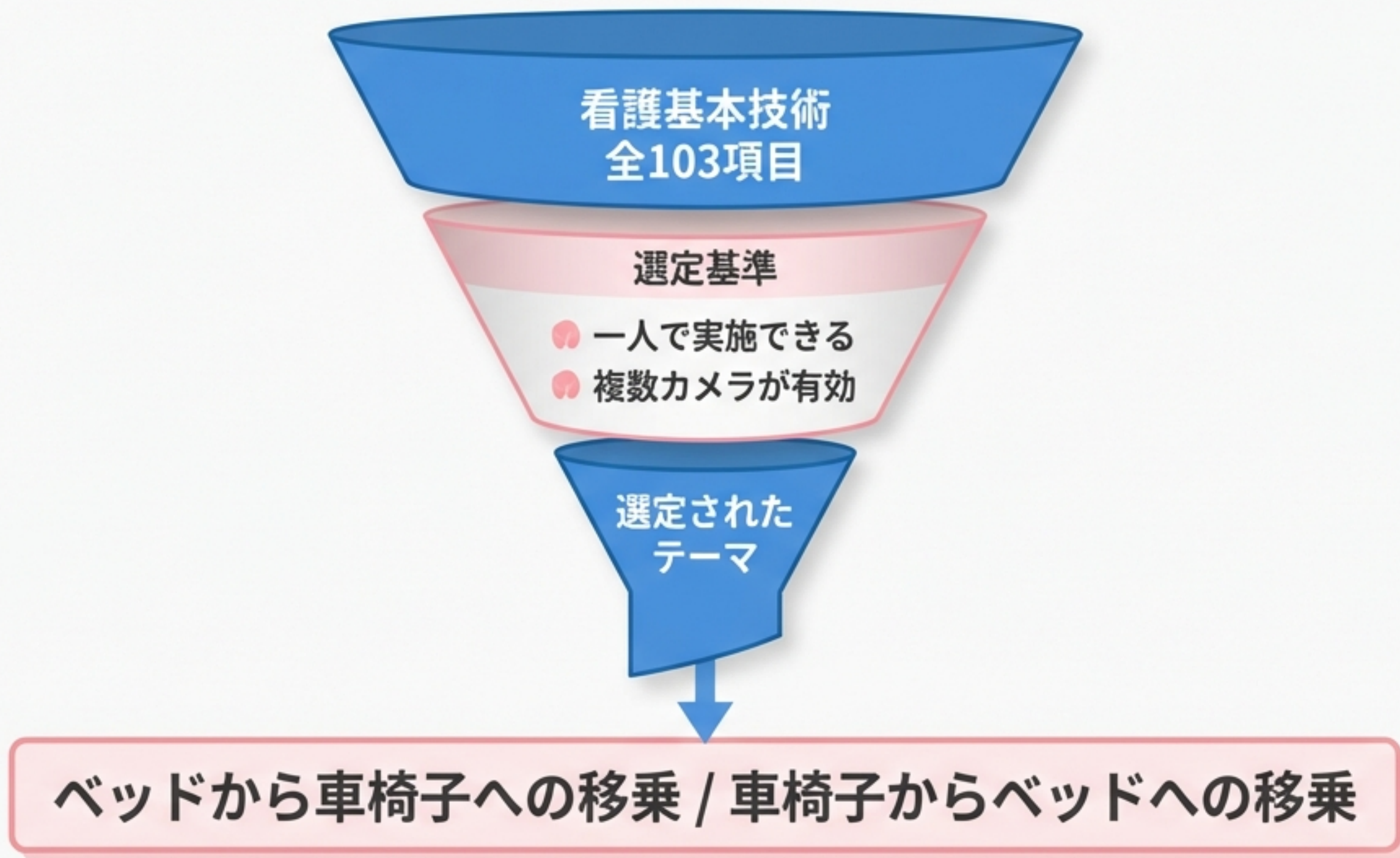


チャプター機能

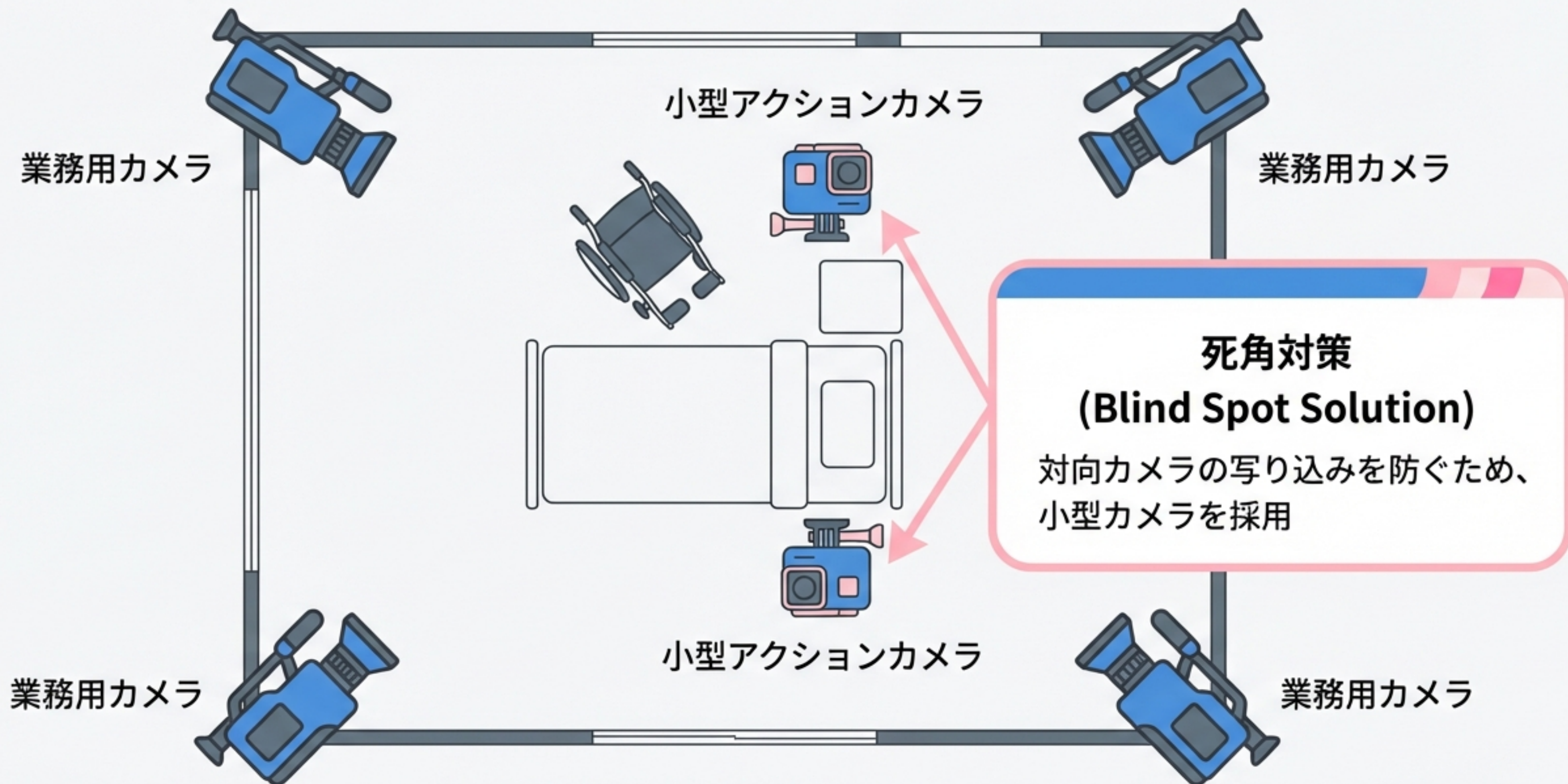
「車椅子へのアプローチ」「立ち上がり」など、技術の工程ごとに即座にアクセス。

教材化する看護技術項目の選定

103項目の中から最適なテーマを抽出



撮影セッティングと死角の解消



実証実験の概要



対象

- 40名の学生クラス
- 8グループに分割（1グループ5名）



環境

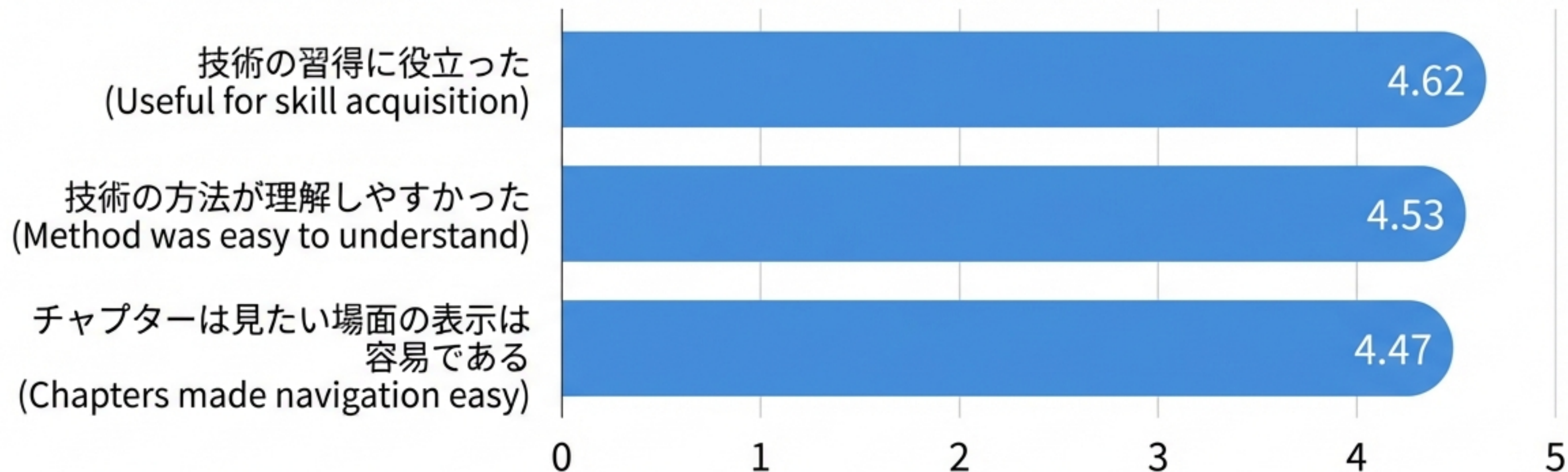
- 各グループにiPadを1台配布
- 授業内で教材を使用



評価方法

- アンケート調査実施
- 5段階評価（19問）＋記述式（5問）

学習効果の検証：アンケート結果



高い評価スコアにより、多視点映像が技術習得において有効であることが示された。

操作性と視認性の評価



視点切り替えの容易さ
(Switching views is easy)



画面の大きさは十分
(Screen size is sufficient)



操作方法は覚えやすい
(Operation is easy to remember)

UI/UXの障壁を取り除き、学習内容そのものに集中できる環境を実現。

他分野への展開の可能性

理科の実験



手元、俯瞰、側面など、生徒が殺到して見えにくい実験手技を全員に共有。

体育



模範演技と自分のフォームを比較。多角的なフォームチェック。

書道・芸術



筆の運びや角度など、平面では伝わりにくい立体的な技法を可視化。

ワークショップ：あなたの分野での応用

看護技術の多視点映像タブレット教材を見て、他の教材への応用をグループで話し合い、その効果について考えてみましょう。



多視点映像技術の詳細はこちら